

「闇」

マナ、そして、魔法は、その使い方によっては強大な力を引き起こすことになり、それゆえ、かつて中世時代には、マナと魔法を使った大きな戦争があった。

そしてその乱戦の火種となった人物は、「闇」と呼ばれる現象に捕らわれていたとされている。

「闇」とは、マナに精神を過度にさらすことによって、心身に異常をきたし、歯止めが利かなくなってしまう状態のことである。

「魔法」というものは、地球上に漂うマナを抽出し、顕現させる技術体系であるが、魔法は、マナが存在以上に、それを精製する術者本人の精神力が影響する。そして、精神が多量のマナに長時間さらされると、心身に多大な負担がかかり、やがてマナへの依存症状と中毒症状が、同時に現れ始める。

その結果、「闇」に囚われた者は、多くの場合、極めて攻撃的、排他的、刹那的な性格になり、破滅的な衝動に駆られることになる。

そうした人間の操るマナは、多くが漆黒色をしており、それが「闇」に囚われる、という用語の由来である。

そして、そのマナと魔法による大きな争いの後、魔法使いたちは、マナと魔法の存在を、一般の人々から隠すことに

した。

魔法が使える人間は、世界でも限られており、数そのものは少ない。それゆえ、魔法の存在を、今まで魔法を知らなかった人間たちにまで知られることは、マナの濫用につながり、結果、多くの「闇」を生み出しかねない。そして、それが引き金となり、一般人からの魔法使いへの偏見も生まれかねないからだ。

こうして、魔法使いたちは「魔術師ギルド」という秘密結社を作り、魔法の存在を守り、「闇」の魔術師を討つという使命に就いているのだ。

※注意!

GM 以外は読まないこと

ここから先には「ZOOKYO ISLAND」のサンプルシナリオが書かれています。

もしあなたがプレイヤーをする場合、事前にその内容を読んでしまうと、ゲームが楽しめない場合があります。あなたが GM をしないのであれば、内容は絶対に読まないようにしてください。

インターネット上での取り扱い

あなたがこのシナリオを GM として、あるいはプレイヤーとしてプレイした後で、その内容をそのプレイに参加していない人に語る場合、ネタバレにならないように注意してください。

特にインターネットなどの公開された場での取り扱いにはご注意ください。

シナリオセクション

シナリオの読み方

はじめに

シナリオは、主に「GM だけが読むもの」と「プレイヤーに伝えるもの」の2種類に分かれている。

GM だけが読むもの

- ・ストーリー
- ・FAQ
- ・★解説

プレイヤーに伝えるもの

- ・シナリオデータ
- ・今回予告
- ・シナリオハンドアウト
- ・★描写
- ・★セリフ
- ・★結末

まず GM は「今回予告」をプレイヤーに読み上げ、その後「シナリオハンドアウト」をプレイヤーに配布すること。

プレイヤーは、今回予告を読み、キャラ作成時に用意されたハンドアウトの中から好きなものを選んで、それに沿ったキャラクターを作成する。

ストーリー

そのシナリオの簡単なあらすじが書かれている。

基本的にネタバレを含んでいるので、GM だけが読むべきで、事前にプレイヤーに読ませてはいけない。

今回予告

「今回予告」は、シナリオの予告編であり、シナリオの概要を示す文章である。

シナリオハンドアウト

「ハンドアウト」は、セッションにおける各 PC の指標を示す文章である。追加コネクションや推奨クラス、推奨職業などが書かれている。

① PC 番号

その PC の番号のこと。プレイヤー人数がハンドアウトの数より少ない場合は、PC 番号の若い順にハンドアウトを採用すること

②コネクション・感情

シナリオで PC に渡されるコンタクトの名前と、推奨される感情について書かれている。

③推奨クラス

キャラクターを作成する際に、使用が推奨されるクラスが記載されている。

④推奨職業

キャラクターを作成する際に、推奨されている職業が記述されている。

⑤本文

ハンドアウトの本文。そのハンドアウトを選択した PC に与えられる設定や解説などが書かれている。

シーンの記述

★解説

そのシーンの GM 向けの解説。シーンの目的や、どのように進むかの流れなどについて書かれている。プレイヤーに読み上げないように注意すること。

★描写

そのシーンの描写と演出。GM は基本的にこの部分を読み上げるようにすること。

PC の設定や交わす会話によって、NPC の対応やセリフなどは変化するだろう。

★セリフ：○○

そのシーンに登場する NPC が行うセリフの例である。セリフをしゃべる NPC 名が記述されている。会話の対象となる PC の設定に合わせて、言葉遣いや人称などは適切に修正し発言すること。

★結末

そのシーンを終了させる方法について記載されている。基本的には終了条件や終了時の情景などが書かれている。



シナリオデータ

プレイヤー人数：3～5人

セッション時間：3～5時間

ストーリー（ネタバレ含む）

獣京都立獣ヶ丘高校に、1人の転校生がやって来る。彼の名は小柴ジュン。一見普通の少年だが、実は他の惑星から来た宇宙人だったのだ。

一方そのころ、獣京では獣人たちの無差別連続失踪事件が起こっていた。その事件の首謀者は謎の異星人。そして、それらを見つけることができるのは、同じく宇宙人である小柴ジュンだけであるというのだ。

PCたちが謎の異星人たちを倒せば、シナリオは終了となる。

FAQ（ネタバレ含む）

このシナリオは、初めてこのゲームをプレイすることを想定している。

このシナリオでは、「獣京にいる宇宙人は2種類のみ」という設定なので、PCの中に「宇宙人」の設定のキャラクターがいるのは望ましくない。そうしたPCを作成する予定のプレイヤーには、それとなく設定を変えるように助言するとよい。

また、メインフェイズ中、もしすべてのリサーチ判定が終了していないにも関わらず、「班目コウ」に〈シャーロックホームズ〉を使われてしまった場合は、班目コウに正体を明かさせ、即座にクライマックスフェイズの戦闘を行わせること。

今回予告

日本の中心都市、^{ズーキョー}獣京。

ここ獣京では、様々な獣人たちがつねに行き交い、さまよう。

彼らにはそれぞれの人生、それぞれの日常がある。

しかしそうした人々の中にも、その平和を脅かさんとする、悪しき輩が潜んでいたのだった――。

ZOOKYO ISLAND「この惑星はユートピア!？」

物語の主人公となるのは、キミだ。

シナリオハンドアウト

「クイックスタート」でキャラクター作成を行う場合、以下のサンプルを使用すること。

PC①：希望の星

PC②：獣京の探偵

PC③：科学の使徒

PC④：街を駆る龍

PC⑤：炎の描き手

PC①用ハンドアウト

コネクション：小柴ジュン 感情：興味

推奨クラス：なし 推奨職業：学生

キミは都立獣ヶ丘学園に通う高校生だ。ある日、君は放課後に、同じクラスで転校生の小柴ジュンに呼び出され、告白された。しかしキミは、彼とあまり話したことがないし、彼は自分のことを宇宙人だというのだ。

PC②用ハンドアウト

コネクション：深山キリコ 感情：ビジネス

推奨クラス：ジーニアス 推奨職業：探偵

キミは私立探偵だ。ある日キミの探偵事務所に、獣京副知事の深山キリコがやってきた。この獣京に悪しき宇宙人が不法入国しており、それを突き止めてほしいという。

PC③用ハンドアウト

コネクション：班目コウ 感情：友人

推奨クラス：エージェント 推奨職業：警察官

キミは優秀な警察官だ。現在獣京では原因不明の失踪事件が相次いでおり、その対策チームに入れられたのだ。キミは相棒の班目と共に、事件の究明に乗り出した。

PC④用ハンドアウト

コネクション：萬田ヒサシ 感情：腐れ縁

推奨クラス：アウトロウ 推奨職業：ヤクザ

キミは獣京を取り仕切るヤクザである芹沢組の若頭だ。舎弟でありキミと家族同然だった萬田が、最近姿を消したという。裏切り？抗争？とにかくキミは彼を探すことにした。

PC⑤用ハンドアウト

コネクション：辰じい 感情：いい人

推奨クラス：なし 推奨職業：なし

キミは魔術師ギルドの一員だ。ある日キミは師でもある辰じいに新宿公園に呼び出されていた。聞けば何やら獣京に「闇」が忍び寄っているらしい。キミの出番だ。

オープニングフェイズ

シーン 1

シーンプレイヤー：PC ⑤

★解説

魔術師ギルドの一員である PC ⑤が、獣京の秩序が乱れているので正しに行くシーン。

★描写

「星じゃ。星の危機が迫っておる。」

キミの目の前に座りこんでいる老人が、天を指さしながら穏やかに語りだします。

ここは、^{ズーキョー}獣京の中心都市、新宿の中央公園。時刻は真夜中です。周りを高層ビルに囲まれ、ぼっかり空いた土地に作られたこの広場は、辺りに人影もありません。電灯の下に座っている、みすばらしい姿をしたその老人は、年老いた龍で、大樹の枝のような一對の角を持ち、伸び放題の真っ白なひげをさすっています。

彼こそが、秘密結社「魔術師ギルド」の長、通称辰じいです。彼は語ります。

★セリフ：辰じい

「(PC ⑤) よ」

「お主をここへ呼んだのは他でもない。この獣京に、『闇』が迫っておる」

「予言があった。それを放っておけば、この獣京、ひいてはこの星そのものに危機が訪れる。その『闇』を排除する

のが、今回のおぬしの使命じゃ」

「闇とは、闇じゃ。その正体を探るのも、おぬしの仕事じゃ」

「では、すぐにでも向かうがよい。この獣京の危機を救うのじゃ。」

(行くのを渋る)「行かなくてはダメじゃ。おぬしも魔術師の端くれ、ギルドの意思に逆らえば、おぬしは魔術師として生きていけぬぞ。」

(任務へ向かおうとする)「あ、そうだ。それからもう一つ。」

「腹減ったんじゃが、なんか、持ってない？ コンビニ弁当も頼んであったはずなんじゃが……。」

「お、こりゃ、新商品じゃないか。やっぱ、メンはセブンが最&高じゃな。」

「では、向かうが良い。」

★結末

PC ⑤が応じると、PC ⑤に使命「獣京の闇を討つ」を与える。

PC ⑤がその場を去ると、公園にひとり残された辰じいは、空を見上げて、「はてさて、どうなることやら…」

とつぶやいて夜空を見上げる。すると、画面は、彼を上から写す映像になり、そこから次第にズームアウトしていく。高度がどんどん上がり、辰じいも、公園も見えなくなると、やがて夜の新宿、そして獣京の、星空のような夜景が広がっている。そして、そこにタイトルロゴが

現れる。

「ZOOKYO ISLAND」

以上の描写をしたらシーン終了。

シーン 2

シーンプレイヤー：PC ④

★解説

ヤクザである PC ④が、失踪を遂げた舎弟を追うよう命じられるシーン。

「萬田久」はジャガーの獣人で、PC ④のことを「アニキ」と呼んで慕っていた、PC ④の忠実な舎弟である。

★描写

獣京にある「芹沢組」、芹沢十兵衛の邸宅。広大な敷地面積を誇るその屋敷の、畳敷きの大広間に、キミは呼び出されています。

組長の芹沢十兵衛は、年老いた背の低いハツカネズミ獣人で、多数の SP を周りに従え、着物姿で、君の目の前で昼食をとっています。

「お前の舎弟の、萬田久が消えた。」

分厚いステーキをほおぼりながら、芹沢が君に告げます。しかしキミには信じられません。萬田はキミの忠実な舎弟で、突然失踪する理由など考えられなかったからです。

★セリフ：芹沢十兵衛

「組のやつらは、戸村組が一枚噛んでるんじゃないかと戦々恐々としとる。だがその確証もねえ。」

「手掛かりは、奴の部屋に残された、こ

の手紙だけだ。」

(と言って渡された手紙には、「助けて。宇宙人に殺される。」とだけ書かれている。)

「(PC ②)、萬田の野郎を見つけ出せ。宇宙人だか何だか知らねえが、どこかでほつつき歩いているに違いねえ。見つけ次第連れ帰ってこい。」

★結末

PC ④が応じたら、PC ④に使命「萬田久の命を守る」を与え、シーン終了。

シーン 3

シーンプレイヤー：PC ③

★解説

警察官である PC ③が、獣京署の対策本部の会議に出席するシーン。

情報収集担当の班目コウと共に失踪事件を解決する。班目コウは巨漢のチーター獣人で、いつもドーナツを食べている。

★描写

獣京署、大会議室。ここに獣京署の屈強な警察官たちが集められ、ある事件の対策本部会議が行われていました。ウシ獣人で署長の久我山が、ホワイトボードを背に説明しています。

君と、君の同僚の班目コウは、共に並んで席につき、久我山の話聞いています。班目は、もちろん脇にドーナツを携えて。

★セリフ：久我山誠司

「いいか！ この獣京連続失踪事件によって、多数の獣人たちが行方不明になっている。被害者の共通点はなし。しかしこれ以上被害が広まれば、それこそ獣京署の名折れだ。なんとしても成果を上げるんだ！ では直ちに捜査に取り掛かれ。解散！」

★セリフ：班目コウ

「警察が総力を挙げて捜索しても分からない事件なんて、僕らなんかに見つかるのかなあ……？」

「失踪事件なんて捜査したら、ぼくらも失踪しそうで、嫌じゃない？ あ、まあ、君は現場捜査がメインだけど、僕はもっぱらパソコンの前での情報収集が仕事だから、あんまり関係ないか！ なんちゃって～」

「ま、とにかく頑張ろうね！」

★結末

PC ③が応じると、PC ③に使命「連続失踪事件を解決する」を渡す。

その後、廊下を歩くPC ③と班目の姿を画面に映しながら、カメラが窓に移動していく。その間、班目の世間話が聞こえてくる。

「それよりさー、昨日のUFO 特番見た？ 僕、見てたら腹減ってきちゃって……。だって「ドーナツ型UFO」って言うから、めっちゃドーナツ食べたくなっちゃってさあ～！ 宇宙人なんて、ホントにいるのかなあ～。」

という言葉とともに、画面は暗転し、

シーン終了。

シーン 4

シーンプレイヤー：PC ②

★解説

探偵であるPC ②が、副市長の要請を受け、失踪事件を追うシーン。

★描写

「はい。宇宙人は実在します。」

キミの目の前のソファに座っている女性が、そう言ってキミに話を切り出します。

ここはキミの探偵事務所。その応接室にて、キミは依頼人に話を伺っています。

キミに話しかけているのは、獣京都副知事の深山キリコ。メガネをかけたヒツジ獣人の女性です。

★セリフ：深山キリコ

「今回、獣京で有数の探偵と言われるあなたに依頼したいのは、その宇宙人の件なんです」

「あなたに、この獣京に潜む、悪しき宇宙人を探してほしいのです。」

「この地球には、至るところに宇宙人が存在しています。そして大部分の宇宙人は、『銀河連合』という組織と、国際連合、それからNASAの許可を得て、ビザを発行され、この地球に旅行先、もしくは留学先として滞っています。」

「ですが、ごくまれに、不法入国、いえ不法入星する宇宙人が存在します。そして今回、その不法入星者が、この獣京のどこかに潜んでいるという情報があり

ました。あなたには、その宇宙人の捜索してほしいんです。」

「信じられない話だと思うかもしれませんが、でも、『銀河連盟』の条約により、地球人には宇宙人の存在を公にさせていません。地球はまだ銀河間を移動する文明レベルに達していないので、それを条件に、銀河連合から保護されているんです。ですから、これは極秘任務で、貴方にしか頼めないのです。」

「期待していますよ、(PC ②)。」

★結末

PC ②が応じると、PC ②に使命「悪しき宇宙人を見つけ出す」を渡す。

さらに深山キリコはPC ②に続けて助言をする。

「宇宙人たちは、自分の姿を巧妙に隠しています。彼らが自分から、自分の正体を明かすことは殆どないと言っていいでしょう。……よっぽどおバカな宇宙人ではないかぎりには。」

彼女がそう言うと、シーン終了。

シーン 5

シーンプレイヤー：PC ①

★解説

高校生であるPC ①が、小柴ジュンに告白されるシーン。

★描写

ある春の日の朝。キミが高校に登校してくると、キミのげた箱の中に何かが入っています。白い封筒に、ハート形のシ

ルで封がしてあり、中にこんなことが書かれています。

「放課後、校舎裏の桜の木の下で待っています。 小柴ジュン」

小柴ジュンという名前には聞き覚えがあります。彼は、今年の春からキミのクラスに転校してきた転校生です。ですが、キミは、まだ彼と会話をしたことすらありません。

放課後になり、あなたが校舎裏に行くと、すでに花びらの散った、葉桜の木の下で、制服を着た柴犬の少年が、キミのことを待っています。

「(PC ①)さん、あなたのことが、ずっと前から好きでした！ 付き合ってください！」

そう言われ、キミが返答に困っていると、そのジュンという少年は、首をひねって呟きます。

「あれえ？ お、おかしいなあ……。この星では、この方法が一番ポピュラーなはずなんですけど……。」

★セリフ：小柴ジュン

「あのう、ダメですか？」

(承諾する)「本当ですか！ やったあ！ じゃあ、あの……今週末、デートに行きませんか？ 僕、買い物に行きたいんです。」

(断る)「じゃ、じゃあ、あのう……。今週末、遊びに行きませんか。僕、あなたと仲良くなりたいんです。」

(「この星」って何？と尋ねる)「い、い

や違います！ 僕、全然、宇宙人とかじゃないです。普通の地球人です。どこからどう見ても。」
「と、とにかく、今週末の日曜日、10時に、新宿東口に来てください！ぼく、待ってますから！」

メインフェイズ

★解説

ここから、メインフェイズとなる。もしリサーチ判定に成功したら、以下の情報のどれかについて調べられる。

「小柴ジュンについて」

「失踪事件について」

「宇宙人の噂」

「舎弟・萬田久について」

(PC人数が3人の場合、「萬田ヒサシについて」は除くこと。)

また、「失踪事件について」と「宇宙人の噂」を検索し終わると、新項目「**悪い宇宙人の噂**」がリサーチ可能になる。

・「小柴ジュンについて」

小柴ジュンは、宇宙人である。許可を得て他星から地球にやってきた、れっきとした留学生である。NASA からのお墨付きと、獣京の住民票がある。

ジュンは、漫画オタクで、特に地球の同人誌が大好きである。

★結末

PC①が応じても応じなくても、小柴ジュンはその場から急いで立ち去ってしまう。その後、PC①に使命「小柴ジュンの正体を知る」を渡して、シーン終了。

また、この情報を公開した場合、「**小柴ジュンの住居**」に移動可能になる。次以降のシーンで移動すること。

・「失踪事件について」

獣京にて5人もの行方不明者を出している重大事件。

新宿で起きた乱闘事件で、数人の男たちが確保され、彼らが事件に関わっているとみられる。

彼らは、リーダーの指示で動いており、「小柴ジュン」を捕らえるのも、そのリーダーの命令だった。

しかし、リーダーは別行動で獣京のどこかに潜んで通信のみで連絡を取り、姿かたちも変えているため、男たちも詳細な場所は分からない。

・「宇宙人の噂」

宇宙人は現在、獣京において2種類が確認されている。一種は、ビザが発行されて許可を受けて留学している宇宙人だが、もう1種類の宇宙人は不法入

星者で、複数人存在する。

先日、新宿で乱闘事件を起こして捕まった男たちは、実はこの宇宙人である。彼らは、人を夜な夜なさらっては、捕食してエサとしつつ、人体の弱点を解析して、地球征服を企もうとしている。

・「萬田久について」

この情報が公開された場合、新たに「シーン4」が自動的に発生する。

(・「悪い宇宙人の噂」)

「失踪事件について」と「宇宙人の噂」を検索し終わったときに検索可能になる項目。

この情報が公開された場合、新たに「シーン5」が自動的に発生する。

シーン1

シーンプレイヤー：PC①

★解説

小柴ジュンとデートに行った獣京の街で、宇宙人達に襲われるシーン。

デートの最中、頃合いを見計らって、小柴ジュンを対象に、PC①に「**ロマンス判定**」を行わせること。

また、戦闘があるので、PC全員にシーンに登場するよう促すこと。

★描写

週末になり、キミは人のごった返す新宿東口にやって来てしまいました。キミが集合場所のすぐそばまでやって来る

と、すでに小柴ジュンくんが、私服姿で、君のことを待っています。声をかける前に、彼はキミの事に気が付いて、こちらに近づいてきます。

★セリフ：小柴ジュン

「よかった！ちゃんと来てくれたんですね！ありがとうございます。」

「それじゃ、さっそく行きませんか。」

「あのう、僕、一度本屋さんっていうのに行ってみたかったんですけど、いいですか？ 新宿にはキノクニヤっていう大きな本屋さんがあって、マンガがいっぱいあるって聞いて。」

「僕、マンガが好きなんです。」

「本当は、ドウジンシっていう、アマチュアの作家が書いた本が欲しいんだけど、そっちはちょっと、また今度ってことで……。」

(本屋に行く)「わあっ！すごい！これ全部本！すごい！やっぱり地球はすごいな！見て回ってもいいですか!？」

「(PC①)さん、楽しいですね!!」(ロマンス判定を行う)

「いやあ、いっぱい買いこんじゃった！これで当分は楽しく暮らせそう〜。」

(話しかけようとすると、ジュンの姿がなく、少し離れた場所で、スーツ姿の獣人たちに絡まれている。)

「あ、あの、あなたたち誰ですか?」

★セリフ：スーツの獣人たち

「小柴ジュンだな。」

「今から我々と一緒に来てもらう。」
(阻止する)「なんだ貴様は。我々のジャマをするものは許さん。」
(そういうと、男たちの顔面に十字に裂け目が入り、パツクリと割れて、中から沢山のキバが並んだ大きな口が出現する。戦闘へ)

★結末
スーツの男たちのデータには、モブ「SP」を2体出して使用する。男たちを倒したら、シーン終了。

シーン 2

シーンプレイヤー：PC ⑤ or PC ③

★解説

PCたちが集まり、情報交換をするシーン。GMはPCたちを前シーンから好きな場所に移動させ、そこで情報交換やロマンス判定をさせること。

男たちから情報を得たいとPCが申し出た場合、リサーチ判定に成功すれば情報が入手できる、と伝えること。

★描写

謎の男たちが倒れると、まもなく騒ぎを聞きつけた警察が駆けつけ、辺りは騒然となります。

男たちは、警察に身柄を確保され、キミたちは、その場からいったん離れることにしました。

★セリフ：小柴ジュン

(男たちの事を聞かれて)「わかりません……。突然話しかけてきて……。知らない

人たちでした。」
(宇宙人かと聞かれて)「はい、そうです。……いえ! そうじゃないです! 僕、普通の地球人です! 普通の高校生ですから!」

★結末

PC達が一通り情報交換を終えたら、最後に小柴ジュンが、PC ①に「(PC ①)くん。さっきは助けてくれて、ありがとう。僕、すっごく怖くて……。デートは台無しになっちゃったけど、すごくカッコよくて、嬉しかった。」と言い、そのまま帰宅する。シーン終了。

シーン 3

シーンプレイヤー：任意

★解説

ここからは、各PCは自由行動となるので、PCに何がしたいかを聞き、シーンプレイヤーと場面を当てはめ、自由にシーンを作っていくこと。(シーン3-A、3-B…。)

PC ③に関しては、リサーチ判定に成功したら、班目コウの協力により成功したことにして、彼の口から語らせることにしてもよい。またその際、ロマンス判定を行ってもよい。

シーン 4

シーンプレイヤー：PC ④

★解説

「萬田久について」のリサーチ判定に成功したとき、自動的に発生するシーン。

PC ④と、リサーチ判定に成功したPCは自動登場。

★描写

調査の結果、萬田久は、獣京のとある寂れたアパートに身を隠していることが分かりました。

雨の降る夜、キミたちは、獣京のはずれにあるそのアパートの一室の前までやってきます。

チャイムを鳴らすと、中から、げっそりやつれたジャガー獣人の男が顔を出します。

★セリフ：萬田久

「(PC ④)の兄貴!!」

(中の、畳敷きのワンルームに通してくれる)「俺、おれ…偶然見ちまったんだ、人の顔が、突然ぱっくり割れて、他の人間を食べてるところを……」

「俺、あいつらに気づかれちまったんです。だからきっと、今もあいつらは俺を探してる。俺、殺されちまう。アニキ、助けてくたせえ……!」

★結末

その直後、突然、萬田久の家の窓を突き破って、一発の銃弾が、萬田久の頭を貫く。これは、「奇跡」《ブッシュスネーク》の効果である。「奇跡」で対抗しなければ、萬田久はこのシーンで自動的に死亡する。

もし、萬田久を助けることができれば、萬田久は泣きながら礼を言う。助けても助けなくても、窓から外を覗くと、

闇夜に紛れて立ち去る謎の人影が見え、その人影はすぐにシーンから退場する。シーン終了。

シーン 5

シーンプレイヤー：PC ②

★解説

「悪い宇宙人の噂」のリサーチ判定に成功したとき、自動的に発生するシーン。PC ②と、リサーチ判定に成功したPCは自動登場。

★描写

キミたちは、獣京都庁庁舎の最上階、一面ガラス張りの副知事室にて、深山キリコに呼び出されていました。

★セリフ：深山キリコ

「あなたたちが情報収集を行ってくれたおかげで、こちらでも情報が入手できたので、あなたがたにお伝えします。改めて感謝します。」

「いま獣京で確認されている宇宙人が2種類いることは、あなたたちが調べてくれた通りです。そのうち、不法入星者たちのほうは、ふだん『捕食時』以外は、地球人の姿をとって、まったく正体を見破ることが出来ないようです。捜索が難航しているのはそのためです。」

「しかし、『地球人以外の人間』になら、その彼らの正体を簡単に見破ることが出来るらしいの。あなたたちの身の回りに、そういう人物がいたら、協力を仰げないかしら?」

「(PC②)、正直言って、あなたのことは最初あまり信用してなかったの、ごめんなさい。だけど……宇宙人たちのことを調べ上げられた貴方なら、本物だわ。きっと……この街の平和を取り戻してくれるはず。できる限り協力させて。改めて、ありがとう。」

★結末

PC②が応じたらシーン終了。

シーン6

シーンプレイヤー：PC①

★解説

PCが「小柴ジュンの家に行く」と宣言すると発生するシーン。PC①は自動登場。

小柴ジュンの家の中に入るには、判定は必要なく、「入る」と宣言すれば入ることができる。

PCたちが、小柴ジュンの家の中に入っても、入らなくても、小柴ジュンに事件解決への協力を要請すれば、ジュンは喜んで応じてくれる。

★描写1

キミたちが学校で調べて手に入れた住所には、大きなマンションが建っていました。

キミがエレベーターで上まで登り、指定の部屋の前までやって来て、チャイムを鳴らすと、「は〜い……」と、スウェット姿のジュンが、眠そうな顔で、ドアから顔を出します。

そして、(PC①)の顔を見ると、すぐにボタンとドアを閉めてしまいました。

★セリフ1：小柴ジュン

(扉の向こうから)「(PC①)くん!?びびっくりにしたあ!! どうしてウチが!?!」
「(宇宙人なのかと聞く) バレちゃった? うん、ぼく宇宙人なんだ。この地球とは、別の星から来たの。」

「(悪い宇宙人を見破れるか聞かれて) あ、はい。見ればわかりますよ。みんな、そう見えてるんだとばかり思ってた。だから、この星はそういう変な人がたまに紛れ込んでる街なんだなーって。でも最近、そうじゃないのかも、って分かってきて……。」

(家に入ろうとする)「あ、ちょっと待って!? ダメダメ!」

「あの、その、言にくいんだけど、いま、家の中がすごく散らかってて! また今度ならいいんだけど!!」

(それでも中に入る)「は、入らないで!! 見ないで〜!」

★描写2

キミ達が、中に足を踏み入れると、そこは、こじんまりとしたワンルームマンションで、中には本棚が並び、そしてベッド以外には、床一面に本という本が積み重ねて置いてあり、足の踏み場がない状態です。

★セリフ2：小柴ジュン

「だから言ったのにい……。」

「どうせなら、お茶でも飲んでいって。」

ベッドしか座る所がないけど……。」

「(PC①)くん、この間のデート、中断しちゃって残念だったね。」

「そうだ。僕、(PC①)くんに見せたいものがあるの。僕がこの地球に来たいと思った理由。」

「(一冊の本を見せる。古そうな、薄っぺらい本で、読みすぎて表紙の端が丸まっちゃっている。内容は、20ページくらいの、男性同士のごく普通のラブストーリーを描いた漫画で、落書きのようなエロシーンもある。)

(また、もしPCの中に作家のキャラクターがいたら、そのキャラクターが10年ほど前に、初めてイベントに出した同人誌であることが分かる。)

「これ……、僕が最初に読んだ、地球のマンガなんです。」

「ぼく、初めてこの本を読んだとき、とっても感動したんです。こんなものが、ホントにこの世の中にあるんだって。僕らの星の文化じゃあ、こんなもの生まれてこなかった。いえ、きっと大昔はあったんでしょうけど、いつの間にか無くなってしまったんです。」

「僕、この漫画を読んで……、感動のあまり、泣いてしまった。なんて素晴らしい本だろうって思ったんです。」

「それで、地球に来て、こんな生活をしてみたかった。素敵な相手と、こん

な楽しい学生生活を送ってみたいって、ずっと思ってたんです。」

「だから、(PC①)くんと、デートみたいなことが出来て、とても嬉しかったんです。ありがとう。」

★結末

小柴ジュンは、PC①にお礼を言う。PC①は「ロマンス判定」を行わせること。

また、もしこの時まで、PC①と小柴ジュンがお互いに「愛」の感情を結んだ場合、PC①が希望すれば、お互いの感情を「恋人」に変更すること。

GMは、頃合いを見て、好きな所でシーンを終了させること。

このシーンが終了すると、クライマックスフェイズへ移行する。

クライマックスフェイズ

シーン1

シーンプレイヤー：PC③

★解説

PCたちが悪い宇宙人のアジトを突き止めるシーン。PCは全員登場。

班目コウに話しかけられた時、〈シャロックホームズ〉を使うか、もしくは小柴ジュンはどんな様子かと尋ねれば、班目の正体を見破れる。その後、戦闘になる。

★描写

小柴ジュンと協力して捜査をすると、なんと、すぐに街を歩く宇宙人を見つけ、後をつけることができます。

その宇宙人は、電車に乗り、駅を乗り継ぎ、上野駅で降ります。

その男が向かったのは、すでに営業時間の過ぎた博物館でした。

キミたちが後をつけ、階段を駆け上ると、うす暗い博物館の中に入ります。そこには、地球の歴史が巨大な模型付きで展示されており、原人であるマンモス獣人やサーベルタイガー獣人が、野生動物の狩りをする様子が描写されています。

キミたちが奥へ進もうか、思案していると、後ろから、君たちを追いかけてくる足音が聞こえます。

そこには、班目コウが、配下を連れてやって来ていました。

★セリフ：班目コウ

「(PC③) くーん! 探したよお!」
「悪い宇宙人を探す手がかりがついに見つかったって聞いて、来たんだよ! その子と協力すれば、悪い宇宙人を見つけられるんだろ? だから、後は警察の特別捜査班に、捜査を引き継ぐことになったんだって。」

「さ、彼はこの人達が連れて行くから、みんなは僕と一緒に署長のところへ行こう! 表彰してくれるってさ!」

(正体を見破られて)「おかしいなあ……。(PC③)くんには、ドーナツを食べるところしか……、見せてなかったはずなんだけどなあ〜??」

★セリフ：小柴ジュン

「えっと……その人、宇宙人です」

「班目コウ」

クラス:インフォーマー/ストレンジャー

奇跡:《エイプフォール》《ラビットラン》

能力値: 肉体 3/ 技術 4/ 知力 5/ 恋愛 4/ 情報 7/ 経済 4

HP: 肉体 14 / 精神 18 / 社会 22+7

スキル:射撃攻撃〈かばう〉〈危険感知〉〈シャッターチャンス〉〈理論武装〉〈擬態〉

アイテム:自動拳銃(1d6+4)、バックパック(2)

行動方針:「先制判定」はこのキャラクターが行う。〈危険感知〉で判定に+2されている。また、もしPC③と友好度1以上の感情を結んでいる場合、ロマンズ効果によって、すべての判定値に+1できる。

1ターン目は後方エリアに「移動」し、PC③に奇跡〈エイプフォール〉で任意の社会ダメージを与える。それ以降は射撃攻撃を行う。戦闘不能時に〈ラビットラン〉を使用し、シーンから離脱しようとする。

「手下A」

クラス:ストレンジャー/ガンスリンガー

奇跡:《ブッシュスネーク》《ラビットラン》

能力値: 肉体 5/ 技術 6/ 知力 4/ 恋愛 3/ 情報 5/ 経済 4

HP: 肉体 20 / 精神 14 / 社会 20+4

スキル:射撃攻撃〈かばう〉〈必殺の矢〉〈抜き撃ち〉〈擬態〉〈オーバーテクノロジー〉

アイテム:光線銃(3D6)、バックパック(2)、お守り

行動方針:1ターン目に後方エリアに「移動」、そして〈抜き撃ち〉〈射撃攻撃〉〈必殺の矢〉を使用する。

リサーチシーンで「萬田久について」がリサーチ済みの場合、奇跡《ブッシュスネーク》は、使用済みとなる。

「手下B」

クラス:ストレンジャー/エージェント

奇跡:《ラビットラン》《ビハインドブル》

能力値: 体力 7/ 技術 5/ 知力 3/ 恋愛 2/ 情報 6/ 経済 4

HP: 肉体 24 / 精神 10 / 社会 20+6

スキル:近接攻撃〈かばう〉〈擬態〉〈自己再生〉〈カバーリング〉〈エアアカバー〉

アイテム:木刀(2D6+1)、バックパック(2)

行動方針:「班目コウ」と同エリアにいる場合は班目コウを、それ以外では「手下C」を優先的にかばう。

「手下C」

クラス:ストレンジャー/ファイター

奇跡:《ラビットラン》《ポアラッシュ》

能力値: 肉体 7/ 技術 5/ 知力 4/ 恋愛 3/ 情報 5/ 経済 3

HP: 肉体 24 / 精神 14 / 社会 16+5

スキル:近接攻撃〈かばう〉〈擬態〉〈オーバーテクノロジー〉〈強打〉〈二刀流〉

アイテム:ライトセーバー(2d6+4 雷)、ナイフ(2D6)、バックパック(2)

行動方針:近接攻撃〈強打〉〈二刀流〉を使用する。

★PC人数が少ない場合

PCの人数が4人の場合、「手下C」を削除する。また、PCの人数が3人の場合、さらに「手下B」も削除する。

★セリフ：班目コウ

(《エイブフォール》使用時)「(PC ③)くん、今まで騙してごめんねー！でも、それだけじゃないんだ。今から君には、僕たちの罪を全てかぶって、ここで死んでもらわないといけないんだよお～！」

(《ラビットラン》使用時)「おっと危ない。尖兵としての僕らの役目は終わった。これから、僕はすぐに元の星に帰って、星を上げての侵略に乗り出さなきゃ！それじゃあねー！」

(戦闘不能時)「ば、バカな……。僕の完璧な計画が……！」

★結末

班目コウ一味が全滅すれば、シーンは終了し、エンディングに移行する。

シーン 2

シーンプレイヤー：PC ⑤

★解説

辰じいに結果を報告するシーン。

★描写

真夜中の、新宿中央公園。キミが再びこの場所を訪れると、ベンチに腰掛ける辰じいが、穏やかな顔をして、キミのことを待っています。

★セリフ：辰じい

「PC ⑤、来たか。」

「おぬしの活躍により、『闇』は葬り去られた。これで獣京もつかの間の平和を取り戻したことじゃろう」

「しかし、これで終わりではない。我々

魔術師は、力あるものとして、引き続き地球を監視し、新たな『闇』を除かねばならぬ。」

「引き続き頼んだぞ、(PC ⑤)よ。」

★結末

PC ⑤が答えたらシーン終了。

シーン 3

シーンプレイヤー：PC ④

★解説

芹沢十兵衛に結果を報告するシーン。

★描写

後日、キミは萬田久とともに、芹沢邸にふたたび呼び出されていました。

芹沢十兵衛は、畳敷きの大広間で、SPに囲まれながら、再びキミたちの前でステーキを食べています。

★セリフ：芹沢十兵衛

「よくやってくれた、PC ④。よく萬田を連れ帰って来てくれた。」

「萬田も、大変なことに巻き込まれてたらしいな。よく生きて帰って来てくれた。これからもこの組のために尽くしてくれ。」

★セリフ：萬田久

「アニキ、俺、なんとお礼を言ったらいいか……。」

「俺、一生アニキについていきます。アニキに俺の一生を捧げるつもりで頑張ります。これからも、よろしく願ひしやす……!!」

★結末

PC ④が答えたらシーン終了。

シーン 4

シーンプレイヤー：PC ③

★解説

署長の久我山に結果を報告し、事件の真相を告げられるシーン。

★描写

キミは、獣京署の署長室に呼び出されていました。キミは署長室のソファに座らされていて、目の前のデスクの向こう側には、署長がブラインドの隙間から外を見ていました。

★セリフ：久我山誠司

「班目コウが、この一連の失踪事件の犯人グループの首謀者だった。」

「いや、あの『班目コウ』という名前も、おそらく偽名だろう。やつは、どうやってか偽の戸籍を手に入れ、我々の前に姿を現した。おそらく、最初から自分の立場と、我々のことを利用するつもりだったのだ。つまり、『班目コウ』という人物は初めから存在しなかった……。」

「これは由々しき事態だ。警察の威信を揺るがしかねん事件であることは間違いない。」

「これから、この獣京は動く。キミの力が必要だ。これからもよろしく頼むぞ、(PC ③)くん」

★結末

PC ③が答えたらシーン終了。

シーン 5

シーンプレイヤー：PC ②

★解説

深山キリコに結果を報告し、事件の真相を告げられるシーン。

★描写

キミの探偵事務所の、応接室。

事件が解決した後、キミの事務所に再び訪れる者がいました。

今、キミが座っているソファの正面に居るのは、獣京副知事の深山キリコ。そしてその隣には、もう一人、グレーのスーツに身を包んだ大柄なライオン獣人が、上機嫌そうに座っています。現都知事の、狭間田邦彦です。

★セリフ：深山キリコ

「班目コウが、この獣京に潜伏する不法入星人のリーダー的存在だったようですね。」

「(PC ②)さん、この事件をよく解決してくれました、ありがとうございます。」

★セリフ：狭間田邦彦

「やあ、お初にお目にかかります。狭間田です! (と言って、PC ②と握手を交わす)」

「どうもこのたびは、事件を解決して頂きありがとうございます! 我々もこの問題には頭を悩ませておりました。このことは、銀河連合に問い合わせるつもりです。これで少しでも惑星間の問題が解消できればと考えていますよ。貴方がいてく

れれば、これからこの獣京都の未来も安泰だ!」

「また別の機会に、あなたの力を借りる機会もあるかもしれません。そのときは改めてよろしく頼みますよ!」

★結末

PC ②が答えたら、PC ②は新たなる依頼に向け、元の探偵家業の日常に戻っていく。シーン終了。

シーン 6

シーンプレイヤー：PC ①

★解説

小柴ジュンと一緒に学校に登校するシーン。

★描写

そして、あくる日の朝。

いつものように、キミが部屋のベッドで目を覚ますと、キミの体を揺さぶる者があります。見ると、キミの枕もとで、小柴ジュンがキミの体を揺さぶって起こしています。

そしてよく見ると、小柴ジュンは、全裸にプレゼント用のリボンを巻きつけているという、異様な格好をしています。

★セリフ：小柴ジュン

「(PC ①) くん、起きて! ねえ起きてったらー!」

「え? ……おかしいなあ、この星では、好きな人を起こす時には、こういう格好をするのが一番ポピュラーなはずなんだけど……。」

「ええ～せっかく着替えたのに……。」

「それより(PC ①) くん、もう起きる時間だよ! 早く起きて、制服に着替えて、朝ご飯食べて早く行かなきゃ!」

「僕もここで着替えるから!」(と言ってリボンを解きだす)

(家を出て、高校へ向かう坂道を登りながら)「でも、本当にいろいろあったね。連休も終わっちゃったし、また、月末くらいに遊びに行かない?」

「(PC ①) くん、こんな僕と知り合ってくれて、どうもありがとう。」

「僕、いま、この星に来て、とっても楽しいんです。いろんな人たちに囲まれて、一緒にいろんなことをして。それで、(PC ①) くんみたいな人と知り合えて、本当に嬉しいんです!」

「これからも、よろしくね、(PC ①)くん!!」

★結末

PC ①が答えたら、シーンは終了し、セッション終了である。その後、経験点・財産点の計算を行うこと。

このシナリオ中に登場したエネミーの【経済】の合計は「21」である。PC間で分配し、財産点とすること。

セッションが終わったら

同じキャラクターを使って次のセッションを企画してもいいし、また別のキャラクターを作っても良いだろう。